



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY 心の中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1088回例会
2012.4.27

司会:石井和郎君 指揮:山本 章君
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352
<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>
せせらぎ三島ロータリークラブ 検索
例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

副会長 太田政人君



地区協議会に出席してきました。そのとき配布された資料の中に文集「やまだの作文」が入っていましたのでご紹介します。

岩手県の山田町は先の東日本大震災で死者・行方不明

771人被災家屋の合計3,367戸（全戸数の46.6%）という大きな被害を受けてしまいました。（せせらぎ三島ロータリークラブが復興支援を行う計画をしている大槌町に隣接しています。大槌町の死者・行方不明は1,282人）山田町には三島市からも役場業務支援として職員を派遣しています。この震災で山田町の児童生徒の文集「やまだの作文」はこの震災で発行が危ぶまれましたが、山田ロータリークラブの尽力によって発刊のはこびとなりました。そして、山田ロータリークラブが所属しています国際ロータリー第2520地区菅原一博ガバナーおよび復興特別委員会 檜山直樹委員長により日本全国のロータリークラブに送られてきたものです。

文集の巻頭にあります山田ロータリークラブ阿部幸栄会長の文章をお読みください。『発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。山田町中心部の80パーセントが消滅した、あの未曾有の大災害の中、私たち山田ロータリークラブも、14名の会員が被災し、クラブ存続すら危惧される状況でした。それでも、会員による協議の結果、山田ロータリークラブの中心的プログラムである「やまだの作文」の発刊だけは、いまだからこそ必ず実行しようと決定いたしました。特に、今回は第四十集の記念号でもあり、大災害の「メモリアル」として、全国2,302全ロータリークラブに配布し読んでいただくことにいたしました。発行部数も約1万部、予算も今までの10倍以上が必要となりましたが、全国のロータリアン、特に2,520地区菅原ガバナーをはじめ、東京浅草ロータリーク

ラブ、大阪金剛ロータリークラブ、藤岡南ロータリークラブ等、多くの皆様より多額のご援助いただき発刊することができました。ありがとうございました。この状況の下、山田町の児童生徒の作文が、いわば「復興メモリアル」として、全国に発信できますことは、未来に向けてたいへん意義のあることと存じます。最後になりましたが、学校運営に大変な状況の中、発行にご尽力いただいた各学校の先生方、実行委員の方々、そして、山田町教育委員会、全国のロータリアン、特に作品を応募された多くの児童生徒の皆様感謝の拍手と御礼をもうしあげ、発刊のあいさついたします。』

私も、作文を読ませていただきました。災害に負けず、健気な児童生徒に感動を覚えました、せせらぎ三島クラブに2冊ありますので、ぜひご一読ください。また、復興支援のヒントになるかも知れません。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

川村結里子さん(加藤君のゲスト)
望月孝裕さん(中山君のゲスト)
古口美知子君(三島RC)
千葉慎二君(三島西RC)

おめでとう

会員誕生日 4月28日 遠藤修弘君
4月29日 石井邦夫君
入会記念日 4月30日 岡 良森君

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	30/34	88.24%	31/34	91.18%
今回	26/34	76.47%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

片野君、小島君、小林君、田中君、土屋君、服部君、望月君、渡辺君

地区協議会報告

副会長 太田政人君

4月22日(日)甲府で行われた地区協議会に出席してまいりました。私と次期幹事の石井さん、会員増強の土屋さん、広報・ITは代理で山口辰哉さん、職業奉仕の宮沢さん、社会奉仕の小林さん、国際奉仕の山口雅弘さん、新会員として杉山順一さん小島真さん遠藤修弘さん、それと事務局の宇都宮さん総勢11名でした。

手続要覧には、次のように規定されています、「クラブ会長エレクトと次期クラブ指導者のために毎年開かれる研修会合。その目的は、次期クラブ指導者が就任の準備を整え、指導者チームを結成すること、および、クラブ指導者の意欲を高め、クラブ指導者との協力関係を築く機会を地区ガバナーエレクトと次期ガバナー補佐、および地区委員会に与えることにある。」

朝7時30分楽寿園前に集合出発、10時前には会場のアピオ甲府に到着しました。

10時30分より本会議、開会点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング『奉仕の理想』、開会の言葉、歓迎の言葉、パストガバナー・地区研修リーダー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・2012～2013年度ガバナーノミニー紹介、次期ガバナー補佐・他役員紹介、ガバナー挨拶に続き高野ガバナーエレクトにより次年度方針が発表された。

その内容を掻い摘んでみますと、

◎ 田中作次RI会長エレクト2012～2013年度のテーマ「奉仕を通じて平和を Peace through Service」

◎ 2012～2013年RID2620運営指針「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを進展させよう」

◎ あなたのクラブは元気ですか

原点認識⇒課題認識・目指す姿⇒行動

◎ ロータリーの原点は職業奉仕と例会

出席率が良い⇒退会者が少ない⇒クラブの基盤が強くなる⇒ロータリーの魅力増⇒新たな会員の増加

◎ 地区目標 RI会長出身国としての支援活動

1. 活動基盤強化 会員維持・増強

2. ロータリー財団への寄付・GSE

3. ロータリー財団「未来の夢計画」策定着手

4. 平和フォーラム・国際大会への登録参加

5. RI会長賞への挑戦

6. 地区職業奉仕セミナーの開催(クラブ研修セミナーと併せて) 職業奉仕月間を目途

7. R米山記念奨学会支援

8. 新世代奉仕活動の活性

9. 国際奉仕活動の活性

10. 富士山世界文化遺産登録活動支援

11. 地区大会 2012年11月17日～18日

最後に「2012-2013は30年ぶりに日本人3人目となるRI会長 田中作次が誕生する特別な年」

着実に活動を積み重ねることで田中会長をバックアップ致しましょう！！

昼食をはさんで分科会、私はDG補佐・会長幹事・会員増強維持部会に出席しました。高野DGEにより研修が行われました。研修内容は

1. あなたは答えられますか

ロータリー検定 初級編

ロータリーとはどのような団体？

ロータリーとは何をしている団体？

Rotary Moment

2. クラブの現況と目指す姿を共有しましょう

現在クラブが存在しているのは先輩ロータリアンのおかげ

クラブを存続させているのは在籍ロータリアンの存在
これからもクラブを存続させるのには次世代ロータリアンの育成

3. クラブの棚卸をしてみましょう

4. 次期会長ならではの「クラブ」を創造しましょう

クラブの足跡をまとめてみましょう

元気なクラブを創造しましょう

不易流行を見定め一歩踏み出しましょう

5. 会員基盤の強化を図りましょう

老若男女(英語ではopen to all)

ロータリーはすべての人に開かれている

6. 地区内の交流を図りましょう

クラブ自慢の実施

分区支援委員会の創設

以上、たっぷり研修を受けてまいりました。

広報・IT推進委員会

代理 山口辰哉君

次年度広報委員長の代理で久しぶりの山梨県甲府市での地区協議会に行ってきました。目覚まし時計は私のためであると豪語していた小島君に家族があることを知り、ある意味ホッとしながら、できたばかりの新東名で御殿場経由甲府まで。会場前で『地区協議会』の看板を前にして記念撮影を済ませ、これで存在証明は完了。全体会議、昼食をはさんで分科会に参加しました。50代半ばのガバナーエレクトということもあり、広報・IT推進に関しては非常に積極的と受け取りました。以下箇条書きですが要点を報告します。

①地区内情報の受発信ということでホームページの充実

ガバナーブログを新設

ガバナー補佐サイトの新設

などが新しいところだと思います

②地区ホームページの閲覧、活用をロータリアンに周知する

③ガバナー補佐による分区運営支援

④公共イメージ向上のための広報活動推進

You Tube等動画サイトの活用

RI広報補助金の活用 など

⑤ロータリーの友地区代表委員との連携

『友』への投稿推進を図る

⑥地区ホームページにバナー広告のスポンサーを募集する

⑦メールアドレス登録のお願い

その他、『ガバナー月信』にクラブ自慢の投稿を、というお話がありました。静岡第2分区は基本8月と2月だそうです。また、ガバナー自らFB(フェイスブック)を活用して情報発信をしていく、ということです。

ロータリーの目的と職業奉仕の真意がクラブ運営に活かされ、ロータリアン自身の理念と納得を得られる様、職業奉仕の理念を原点に戻り再度見つめ直す機会を作る。
○自分の職業を通じ奉仕活動を行う。
○四つのテストの確認
○10/13(土)グランシップ静岡で職業奉仕セミナーを実施。
クラブ研修セミナーとの合同開催でクラブ3~4名参加。
次年度は職業奉仕の理念に沿って事業を行って行きたいと思えます。

社会奉仕委員会

小林 勝君

地区社会奉仕委員会では、平成25年の富士山世界遺産登録を実現するため、富士五湖の精進湖の水浄化運動を展開する事となりました。
具体的な作業としては、7月14日に水の浄化作用のある水草を2000本植え、湖畔のごみ清掃を行います。この水草は浄化し終わった後は回収し、肥料として活用するそうです。
次年度、当クラブ社会奉仕委員会としては、地区委員会の事業意図にそった事業を行っていききたいと思います。

国際奉仕委員会

山口雅弘君

国際奉仕は2つのテーマを話し合いました。

1、交換留学生について

昨年は震災後、一斉に引き上げるなど、突発的な問題も起きた。
受け入れるほうも、送るほうも、申請・実施・帰国と3期に渡る長期事業となる。受け入れ時予想されるトラブルなど、危機管理のマニュアルが必要。(75万位かかるが、35万位は助成金が受けられる。)

2、海外支援

当クラブでもタイへの放置自転車の支援を実施しているが、他にも、カンボジアなどへの放置自転車、文具支援など様々な活動を継続しているクラブが多い。

東日本大震災で国内損保の地震保険の支払い総額1兆2千億円。生保の支払い総額は4千億円。
昨年タイの大洪水では、日本の損保会社計で何と9千億円の支払いがありました。
今後、水害不担保となる動きがあり、リスクが大きすぎる為、タイへの進出を見合わせる企業が増える可能性があり、タイ経済にも大きく影響しそうです。

私は矢岸先輩の代打で米山記念奨学会委員会に参加させて頂きました。
私自身何も知らない状況での参加でした。始めにDVDを見せて頂き、良い事業だなと感じました。
その後の意見交換でDVDで見たら良いところだけが映像で流れていて実際には良い事だけでなく連絡のつかない子供達がいる、問題のある子供たちのいる事が問題意見として上がっていました？

何も知らない新人の方でこのような事を述べて良いのかはわかりませんが、子供の事業で結果の事ばかり述べ、良い子供、悪い子供の判断の目安はなんなのか？また、やってやっているという事は決まっていな思いますが、もし「やってやっている」ということでやっていてその結果を求めるのであればやる意味というのはどこにあるのか？

また日本に来てその後連絡が着かない子供達も沢山いるような意見もありましたが、明日連絡が来るかもしれないし、連絡がないからといってその事を問題としてあげる事業であればやる必要性というのはどこにあるのだろうと感じました。

何はともあれ、色々な意見はあると思ひ雅ですが私自身は良い事業だと感じました。

しかし日本が3.11を迎え、中国など経済大国になりつつあるこの近年、この事業の方向性をしっかりと話し合いをしていかななくてはいけない時期にきているのではないかとこの事を同時に感じました。

新人で何も知らない私が生意気を言って申し訳ございませんでした。地区協議会に参加させて頂き大変勉強になりました。

東北震災復興委員会報告

久保栄子君

東北震災復興委員会の石巻行きに同行させて頂きありがとうございました。
テレビで被災地の様子は見てはおりましたが、現地に行つてあの状況を目の当たりにして大変ショックを受けました。そしてロータリーの方の思い、教育委員会の方の今とこれからの事についてのしっかりとした考えをお聞きして、微力ながら私の出来る支援をしっかりとしていこうと思ひました。

「2012年4月22日 地区協議会 を終えて」

地区協議会分科会の中で、高野孫左エ門(すごいお名前!)次年度ガバナーから「open to all」という言葉を伺いました。「open to all」とは老若男女、全ての方に開かれた考え方のもとでロータリークラブを形成し、新たなクラブ、楽しく、結束の強いクラブにできるよう会員増強計画を図って頂きたいとのことでした。聞いておりました私はこの「open to all」という言葉が妙に気に入りまして、この言葉を信条として次年度の委員長を務めて行きたいと考えております。

また、梅本次年度会員増強委員長からも、各クラブ純増1名、地区内会員数103%が目標である旨のお話を頂きました。ロータリアンは国内ではピーク時約13万人居た人数が諸事情から現在9万人弱にまで減少してきているというお話でした。地区内でも毎年100名余りの会員が減少しているようです。

若干視点が変わりますが日本の場合、49歳以下と女性会員が少ない傾向があるとの事です。世界規模では2015年6月30日までに130万人の会員数を目標としているというお話がありました。ただ、この数値目標はあくまで参考であり、せせらぎ三島RCの会員増強には直接的に影響を及ぼすものではないと思います。

梅本次年度委員長からはまた別の視点の興味深い報告もありました。それは「出席率が90%以上のクラブは会員数が増加している」ということでした。やはり、例会の運営が鍵を握るのではないのでしょうか? 出て楽しい例会、ためになる例会、親睦を深める例会…。会を休むと損をする、くらいに思われる例会運営が人を集め会員増強につながるかと確信いたしました。

更に、「入会審査は厳格に」という注意を頂きました。これは、人物審査を厳しくしなさいという意味では無く、苦労して入って頂いてくださいという意味合いでしょう。簡単に入会して、簡単に辞められるようでは困るので、「あなたはしっかり選ばれて入ったんですよ」という自覚が芽生えるように配慮して頂きたいということでした。

次年度会員増強委員会では委員会の枠を超え、会全体を盛り上げていく所存であります。若い会員、女性会員、外国人・・・etc.

クラブの皆さんも「open to all」でお願いします!

6月ゴルフコンペのお知らせ

ゴルフ同好会

場所:500ハンドレッド(裾野)
 日程:6月24日(日)
 スタート 8:58~ 4組
 費用:24,000円程度(会費5000円)

 **スマイルボックス**

石井司人君:地区協議会に参加の皆様には1日お疲れ様でした。

大房正治君:会議があるのでお先に失礼いたします。

